

# 学園だより

発行 学校法人  
 ノートルダム清心学園  
 清心中学校  
 清心女子高等学校  
 倉敷市二子1200  
 ☎701-0195  
 TEL(086)462-1661  
 FAX(086)463-0223  
 URL <http://www.nd-seishin.ac.jp>

編集 広報 部



文化祭の校内風景

久しぶりに迎える二子の丘の秋は、見違えるほど大きく伸びた木々が色づき始めており、改めて伸びやかで美しいキャンパスに見入っています。50年間、この恵まれた環境が生徒たちの心をどんなに潤し広くしたことでしょう。到着したその日、生徒たちの笑顔いっぱい挨拶で、昔も今も変わらない清心に迎えられる。この清心中学校・清心女子高等学校校長として重責を担うことになり、緊張感はもちろんですが同時に幸せな気持ちも味わっています。

清心は私にとってたいへん懐かし、また大切な学校です。岡山にあった清心中学校から高校1年の二学期にこの二子の丘に移って来ました。植えられた木々はまだ小さく、二棟の校舎しかない出発でしたが、私たちは新しい清心の創立を担う喜びを



校長 Sr. 三宅 聖子

## 新任のご挨拶

味わうことができました。高校卒業後すぐ修道会に入会し、修道者としての実習も教育実習も、そして初めての派遣も倉敷で、一生懸命ではあるけれど未熟な私を温かく見守り育てていただきました。この清心を心からの感謝と喜びをもって大切にしたいと思っています。

今、教育界だけでなく日本の社会も世界も大きな変革期にあります。その中に育ち生きてゆく生徒たちをお預かりするのは大きな責任であることを肝に銘じ、創立者が教えた『Education for Life』を目指して学校運営に取り組んでゆきたいと思えます。そのためには私たち教職員の一致と努力はもちろんですが、本校にご縁のある皆様、保護者の皆さま



創立記念ミサ聖祭



SSH研究成果発表会

同窓生、そして地域社会の皆さま方のご支援をぜひお願いいたします。

カトリック学校としての人間教育をもとに、中学校のNELLPとSELPLP、高等学校のスーパー・サイエンス・ハイスクールとスーパー・サイエンス・ハイスクール・アンソシエイト、ユネスコ・スクールなど、本校は豊かな教育実践にあふれています。残る今年度中は、これら前任者の取り組みを受け継ぎながら、校内をくまなく歩き、生徒や教職員と関わりを深め、ご支援をいただいている方々の声に耳を傾けて、本校の多くの豊かな教育実践を一つの清心の力にするために、しなければならぬこと、できることを考えてゆこうと思っています。どうぞよろしくお願いたします。

今年度の文化祭は天候に恵まれ、大勢のお客様にもご来場いただき、無事に終えることができました。春から準備を進め、当日を含めて笑いあり涙ありの文化祭でしたが、私達生徒会にとっての一大行事を終えほっとしています。支えて下さった先生方、各委員会の皆さんそして保護者の方々に厚くお礼申しあげます。今後は次期生徒会に上手くバトンを渡せるよう残りの行事を清心生の代表として精一杯引っ張っていきます。



高校生徒会長 岡阪 美心実

私たち中学までしこ生徒会は、2年生2名、1年生2名で10月から活動を始めました。

挨拶があふれる素敵な清心中学校にするために私たちが進んで活動し、一生懸命努力していきたいと思えます。また、さまざまな活動を通して、みなさんから信頼され、身近に感じてもらえる生徒会にしていきたいと思っています。

清心中学校のみなさんの笑顔を大切に、充実した学校生活を送れるよう、生徒会一同何事にも精一杯頑張りますので、よろしくお願いたします。



中学生徒会長 横山 はるな





### 北海道歴史文化コース

高2B 木村 友香



クラーク像の前で

私は四日間の研修旅行を通して様々なことを学び、考える機会を多く持つことができました。アイヌ民族については事前学習でレポートを作成したり新聞をよんだりしていましたが、実際に現地で行った話はレポート数枚でまとめることができるものではなく、民族や文化など今まであまり意識しなかった分野について考えさせられるものでした。過去を知り未来につないでいくことの重要性を肌で感じたこの貴重な経験を、自分たちの未来や進路に活かしていきたいと思えます。



### 北海道自然環境コース

高2C 藤原 玲子



旭岳登山の様子

私たちはこの四日間、とにかく北海道の自然の偉大さに驚かされるばかりでした。一日目に旭岳に登った時はカラッと晴れて、綺麗な景色をたくさん目にしました。そうかと思えば二日目からは台風にみまわれ、大荒れの天気での研修となりましたが、同時に自然の厳しさを感じることもできました。旭岳や有珠山などの自然の偉大さをガイドの先生と散策しながら学び、自分達が登った火山によって湧き出した温泉で一日の疲れを癒やすという、常に自然と隣り合わせの体験をさせていただきました。この研修を通じて、様々な表情を見せてくれる自然を守っていきたく強く感じました。



### 沖縄戦争平和コース

高2A 竹田 里帆



「平和の火」を囲んで

私たち十名は戦後七十年を迎えた沖縄に研修旅行へ行きました。現地の方のお話を聞いたり、戦争中に使われていたガマに入ったりすることによって沖縄戦の酷らしさを感じました。沖縄戦のことは広島・長崎に比べて学ぶ機会が少ないですが、国民の一人として知っておく必要があると思います。米軍基地問題は戦後七十年たった今でも我々の頭を悩ましています。辺り一面をフェンスで囲んでいる米軍基地を見て、私は恐ろしかったです。平和を作るためにできることは、まず『知ること』だと思えます。そして、若い世代の人も一緒にあって平和な世界を作っていかなければならないと思いました。



### 沖縄自然環境コース

高2E 久山 玲音探



サンゴの摂餌行動を観察

この研修旅行は、私の将来につながる良い経験になった。瀬底研究施設では沢山の実習があり、特にサンゴには魅了された。さらに先生の話に私の好奇心は大いにくすぐられた。「研究は一つの疑問を持つことで沢山の可能性の扉が開く」との言葉どおりにサンゴについての疑問があふれ、その研究者になれば夢のようだと感じた。そんなことを思いつつ訪問した沖縄科学技術大学院大学は、研究者同士のコミュニケーションを重視した、世界とつながる理系の憧れの場所に見えた。今のうちに準備して、自分の望む進路を選択できるようにしなければ、という思いを強くした五日間だった。



### オーストラリア研修

中3 学年主任 Sr.森脇 尚美

7月5日～18日の14日間、オーストラリアでの研修を行いました。現地の先生方による英語レッスン、サイエンスセンターや高齢者施設の訪問、世界遺産スプリングブルック国立公園での環境学習やコアラ自然保護区の見学など、全てが新鮮で貴重な体験でした。一人一家庭でのホームステイは大きなチャレンジでしたが、温かく迎えてくださったホストファミリーとの楽しい思い出もでき、大きく成長した生徒たちが輝いて見えました。

今回の研修に参加させていただいた家族と、支えてくださった方々への感謝の心を忘れず、経験したことをこれからの学校生活に生かしてほしいと思えます。



修了証書授与

# 森林実習でマレーシアの大学生と交流

SSH主任 秋山 繁治

生命科学コース1年生は、8月3日から4泊5日の日程で、学校設定科目「自然探究I」として、生命科学コースの1年生が鳥取大学の教育研究林「蒜山の森」(真庭市蒜山上徳山)で森林実習を行った。



森の中での樹木調査

## ユネスコユースフォーラム

グローバル教育課 小寺 裕之

井関やあめさんが「第9回ユネスコ・ユースフォーラム(パリ)」へ参加しました。「マハトマ・ガンディー平和と持続発展教育研究所」から推薦され、ユネスコ本部より招待状が届きました。井関さんは、2014年に開催された「ユネスコスクール世界大会高校生フォーラム」において、開会宣言および全体会議長を務め、このた

森林調査を通して自然環境への理解を深めるために、実際に樹木の二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)吸収量の測定・研究に取り組んでいる。協力し合って調査することにより、生徒間の交流を深めることにもつながり、入学して初めての夏の行事として、とても重要な意味を持つている。

今回は科学技術振興機構(JST)のさくらサイエンス事業の助成を受けて、海外研修でお世話になっているトウン・フセイン・オン・マレーシア(U TH M)大学の女子学生を招待することができた。実習3日目に生徒19人と同大学生10人が一緒に森林に入り、本格的な樹木の調査を実施した。10日×10日<sup>※</sup>の4区域のクスギ林を対象に、測高竿で木の高さを測ったり、専用の錐(成長錘)で小さな

びパリのユネスコ本部にて、世界から集まるユース500人と共に地球規模の課題について議論しました。



推薦書とユネスコからの招待状

穴を開けて木の中心部を採取して年輪を測定した。木が生い茂った斜面で、生徒らは英語でコミュニケーションを進めながら、互いに「大丈夫ですか」「頑張ってください」などと励まし合いながら作業を進めていた。

今回の実習のデータは、これまで実施してきた10年間の調査データと合わせて統計的に処理し、「どんな森林が二酸化炭素の吸収量が多いのか」を検討して、成果としてまとめて、10月31日に慶應義塾大学三田キャンパスで本校が主催する「集まれ!理系女子 女子生徒による科学研究発表交流会」で発表した。

## 高校文化祭

高校生徒会副会長 高原 悠希



今年の文化祭のテーマは、皆で明るく楽しい文化祭にしていこうという思いを込めて「Cheerful!!!」にしました。模擬店や展示、演劇など高校全体で一致団結できたと思います。

今年度は文化祭実行委員と協力して校内全体の地図や案内標識を作り、階段の装飾を行うなど来場者の方にも親しんでいただけのよう工夫をしました。部活動ではオーケストラ部が中庭コンサートを開いたり、有志団体によるダンスが行われるなど目でも楽しめる文化祭だったと思います。

## 中学文化祭

前中学生徒会副会長 松浦 明日美



私たち中学までしこ生徒会は一学期から校内文化祭と文化祭当日の企画準備をしてきました。「とにかく生徒のみなさんが楽しめる企画を!」と生徒会メンバー全員で作りに上げていきました。校内文化祭のクイズでは想像以上に生徒のみなさんが楽しんでいる様子を見ることができ、とても嬉しく思いました。

生徒会一同、やりがいと達成感を感じる文化祭となりました。メンバー全員で作りに上げた企画だったので、最後に納得のいく生徒会活動ができてよかったです。

平成27年度文化祭 後援会寄贈品・模擬店販売収支報告書			
種別	売上(円)	諸経費(円)	収益(円)
模擬店	1,063,300	782,336	1,155,824
寄贈品販売	874,860		
合計	1,938,160	782,336	1,155,824

※後援会の文化祭収益の使途は、平成28年1月に開催される「後援会後期委員会」にて協議・決定される予定です。(昨年度は、「校舍改修整備等助成資金及びクリスマス献金の一部」として寄付していただきました。)

※同窓会模擬店・バザーの収益は、マリア・ジュリーの奨学金として500,000円寄付していただきました。

## 中1郷土学習報告

中1学年主任 森 茂樹

吉備路地方に点在する文化財をめぐり、郷土の歴史と文化を学習することをテーマに活動しました。

事前の調べ学習では、各自が興味のある史跡を調べてまとめ、優秀作品の掲示をしました。当日は、天候に恵まれて予定通り吉備津神社・備中国分寺・井山宝福寺の三カ所を廻ることができました。

吉備津神社では、神職の方から神社の縁起や桃太郎伝説についてお話を聞き、国分寺では、ボランティアガイドの方がこうもり塚の入り口の鍵を開けてくれて、石棺を囲んでお話を聞きました。宝福寺でも別のボランティアガイドの方から、画聖とたたえられた雪舟と幼少時代のエピソードについてお話がありました。大変実りのあるよい研修ができました。



国分寺での研修

### 中2林間学校

中2学年主任 隅田 由香



三平山登山の様子

蒜山での林間学校はお天気に恵まれたこともあり、一日目の飯ごう炊さん・星空観察、二日目の三平山登山・里山散策すべて予定通り実施することができました。夏休みからカレイライスを作る練習をしました。本番で成果を発揮できたでしょうか。夜空は気まぐれで雲がかかった時間もありましたが、夏の三角形やカシオペア座、流れ星も見ることができました。三平山には参加者全員が登りました。くじけそうになった人もガイドさんや友達の応援で頂上まで頑張りました。集団生活は少し不便ですが、その中で責任感や自主性・創意工夫する力を少しは身につけることができたと信じています。

### 中3広島平和学習

中3学年主任 Sr.森脇 尚美

被爆七十周年を迎えた広島平和公園には、各地の小中学生や海外からのお客様が大勢訪れていました。事前に調べ学習を行い、前日には被爆者の方の講演を聞いた生徒たちも、この日は実際に自分の目で資料館の展示物を見、自分の足で碑を巡って歩き、広島で起こった出来事に向き合いました。それは、ヒロシマが世界に発信する「平和」について、生徒自らが考えるきっかけになったと思います。

被爆体験者の方から、直接お話を聞くことのできる最後の世代となるであろう生徒たちが、今回の体験を心に留めて、原爆の悲惨さや平和の尊さを、将来に語り継いでくれることを願っています。



祈りのつどいの様子

### 校外活動実績

#### 〈SSH関連〉

- 岡山県教育委員会平成26年度岡山県学校文化関係表彰
- 第58回日本学生科学賞 入選1等
- 高3E 松井 千乃
- 科学技術振興機構 グローバルサ

- イエンスキャンパス
- 次世代科学者育成プログラム平成26年度全国受賞研究発表会
- 「高校生部」推進委員会 優勝
- 高3E 吉岡ゆきの

- 第56回日本植物生理学会年会
- 高校生生物研究発表会 優秀賞
- 第62回日本生態学会大会高校生ポスター賞 最優秀賞
- 平成27年度中国四国地区生物系三学会合同大会(愛媛大会)
- 高校生ポスター発表 最優秀賞
- 高3E 大森 文恵 松井 千乃
- 清板 香帆 岩井 楓

- 第62回日本生態学会大会
- 高校生ポスター賞 優秀賞
- 高2E 國安 里衣 郷原 雪枝
- 岡田美心実

- 平成27年度中国四国地区生物系三学会合同大会(愛媛大会)
- 高校生ポスター発表 優秀賞
- 高2E 郷原 雪枝
- 第5回高校生バイオサミットin鶴岡
- 農林水産大臣賞「バイオエタノール製造に利用できる花酵母を求めて」
- 高3E 大橋 慈子

- 平成27年度スーパースイスインスハイスクール生徒研究発表会
- ポスター賞 生徒投票賞
- 高3E 大橋 慈子 吉岡ゆきの

- 平成27年度備中支部高等学校総合体育大会テニス競技 優勝
- 高3C 馬屋原 愛
- 平成27年度倉敷市総合体育大会バレーボールの部 優勝
- 高3A 藤田 智佳
- 高3D 福田アンナ
- 高3C 小野 愛笑

- 第9回備南東地区中学校総合体育大会水泳競技の部
- 女子100m自由形 第1位

女子200m自由形 第2位

- 第43回岡山県高等学校水泳競技大会 女子800m自由形 第1位
- 高1D 石飛 志帆

- 第53回岡山県中学校総合体育大会 兼 第49回岡山県中学校体操競技新体操選手権
- 中1A 板谷 梨央

- 平成27年度岡山県中学生弓道大会
- 中3C 中桐奈奈美
- 第30回里庄町椿射会
- 中3D 高橋 佳子

- 〈文化関連〉
- 文部科学省 日本ユネスコ国内委員会
- 「ユネスコスクールESD優良実践集」掲載校
- こくさいこどもフォーラム岡山主催 高校生懸賞論文2015 奨励賞
- 高3A 藤原 明穂
- 高3A 井関やあめ
- 高3D 長谷川 舞

- 〈英語関連〉
- 吉備国際大学主催英語スピーチコンテスト
- 第1位 加計賞 高3D 新田 真子
- 第2位 吉備国際大学長賞 高3D 長谷川 舞

## 人事通報

#### 新任

- 校長 三宅 聖子
- 副校長 Sr. 森 雅子

#### 退職

- 校長 Sr. 小谷 恭子

### 2016年(平成28年)度入試日程

	入試種別	募集人数	出願期間	入試日	試験科目	結果発表	手続締切日
中学校募集要項	1次A日程 3教科	約100名	12月7日~14日 ※郵送の場合は消印有効	12月20日	国語・算数・理科・グループ面接	12月25日	専願者 1月6日 併願者 1月26日
	12月23日			国語・算数・グループ面接 ※NELP希望者は英語・英語面接を加える。	専願者 1月6日 併願者 1月26日		
	2次 SELP 2教科		1月23日~1月28日	1月30日	国語・算数・グループ面接	2月2日	2月6日
高等学校募集要項	選抜1期 生命科学コース	25名	1月20日~22日 ※郵送の場合は消印有効	2月4日	国語・数学・英語・理科・社会・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月12日	専願者 2月17日 併願者 3月20日
	選抜1期 文理コース選抜クラス	30名		2月4日	国語・数学・英語・理科・社会・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月12日	専願者 2月17日 併願者 3月20日
	選抜1期 文理コース進学クラス	105名		2月5日	国語・数学・英語・グループ面接 ※英語はリスニングを含む。	2月12日	専願者 2月17日 併願者 3月20日
	選抜2期 文理コース進学クラス			2月17日~19日 ※郵送の場合は消印有効	2月24日	作文・グループ面接	2月26日